

住吉教会 2015 年度テーマ
「殉教者の霊性を生きる」
—信仰刷新の年—

待降節に家族とともに祈る



ブラッドリー・ロザイロ神父

11月に入るとどこの教会も待降節やクリスマスの準備で忙しいと思います。私たち住吉教会共同体も同様です。私は待降節を迎えるにあたり「家族とともに祈る」ことをご紹介したいと思います。「家族とともに祈る」と言ってもみんなが家族を持っているわけではありません。家族のない方もいます。例えば、外国人です。彼らは自分の家族を助けるために遠い国から日本に来て一人で頑張って働いていると思います。彼らは待降節やクリスマスの時期に入るとさびしい思いをします。今はあまりありませんが私は日本に来たばかりの頃は特にクリスマスの時期に家に帰りたいと思いました。一人でクリスマスを迎えるのは本当にさびしいことです。

皆さん、私たちは本当に一人でしょうか？家族から離れて生活する時は寂しいと思う時があると思いますが教会に来て教会共同体と一緒に祈ったり、ミサに与ったり、分かち合いをしたりする時には教会共同体が私の家族となります。一人で生活している日本人の場合も同じことが言えると思います。また、家族がいても色々な理由で一緒に住んでいない方や家族を自分の国に残して日本に来ている方もみな教会共同体の中に入ると思います。ですから自分の親、兄弟姉妹がそばにいないのは寂しいと思っても教会に行けば自分の家族よりももっと大きい家族が私を待っていることを考えると嬉しい感じがすると思います。

カトリック教会が今月29日（日）から待降節に入ります。私たち住吉教会が今月から待降節を迎える準備をしますが一つの工夫として私は各家庭にアドベントリースを用意し、それに四本のろうそくを立て、待降節中（一ヶ月）**毎日家族そろってお祈りすることを勧めたいと思います。**

祈りの仕方ですがまず、最初に一本目のろうそくに火をつけて待降節第一日曜日の祈を一週間唱えます。それから12月25日まで毎週一本ずつろうそくに火をつけて待降節第二、第三、第四日曜日と言う順で祈りを唱えます。家族のいない方は一人で祈るかあるいは毎週日曜日に教会共同体と一緒に祈るかどちらかを選んで良いと思います。

待降節とは神の到来を待ち望む季節であり、その到来に向かって生きる態度が「目を覚ましている」ことです。私たちは待降節中**目覚めて祈ること**によってキリストの訪れに心を開くことが出来ると思います。

待降節第1主日(11月29日)から「新しい『ローマ・ミサ典礼書の総則』に基づく変更箇所」が実施されます。「大阪カトリック時報」11月号に詳しい説明が載っていますので、変更に戸惑わないようによく読んでおいて下さい。



カトリック住吉教会

Sumiyoshi Catholic Church

2013 2015 バザー

Bazaar

とき
11月8日(日)
Sun., November 8,
1. 午前11時~14時まで
11am to 2pm

☆お友達お誘いの上
お越しください。

駐車場はありませ
んのでお車での
ご来場はご遠慮
ください。
No Parking available
At the church site

雑貨・リサイクル
インド雑貨
ホーリーコーナー
Miscellaneous goods corner

ぜんざい・巻きずし
あんかけ焼きそば・焼鳥
ペルー料理・おでん
コロッケ
タイカレー
喫茶・子供コーナー
Foods corner



カトリック住吉教会
Sumiyoshi Catholic Church
住吉宮町2丁目 18-23
Tel 078-851-2756